

議会だより

SHIBAYAMA

2024
August
No.144

CONTENTS

2 定例会のあらまし

3 注目の補正予算
全員協議会

5 議員の賛否

6 活動報告

7 一般質問

①佐藤 良太 議員

②大木 浩司 議員

③八代 正義 議員

④岩澤 勝則 議員

⑤坂井 慶子 議員

⑥宮原 研吾 議員

⑦岩内 章 議員

⑧岩澤 達弥 議員

16 編集後記

狙いをつけてえ～

第2回 芝山町議会定例会 のあらまし

令和6年第2回芝山町議会定例会は6月11日に招集され、6月18日までの8日間の会期で開催されました。

定額減税補足給付金、物価高騰対策給付金、高齢者新型コロナウイルスワクチン予防接種、農業経営発展支援事業補助金等を軸とした総額1億2696万9000円を追加する令和6年度一般会計補正予算（第1号）等の8議案と、繰越明許費計算書などを含んだ報告6件、追加議案3件が町長から提出され、全ての議案が原案のとおり可決されました。続いて、請願の採択により議員発議において提出された意見書案2件が、全会一致で可決されました。（P5）

一般質問には、8名の議員が登壇し、活発な議論を展開しました。（P7～15）

奄美市との絆をより深く

「空港で結ぶ友好都市協定」を締結



▲令和6年7月1日 奄美市役所にて

平成26年7月1日、成田国際空港と奄美空港を結ぶ新規路線として、航空会社のバニラ・エア（現在はピーチアビエーションが継承）が就航しました。これを機に本町からは町長、議会議員を始め、多くの町民が奄美市を訪れました。翌平成27年の「芝山町制施行60周年記念式典」には、当時の奄美市長と議長も参加され、はにわ祭りでは奄美市の物産販売も行われるようになりました。また、平成28年からは中学生の自然体験学習が実施されるなど、たくさんの交

流を深めてきました。そして今年は10周年の節目を迎えるにあたり、これまでの絆を強固にし、さらなる交流拡大のため、芝山町、奄美市の両自治体において「空港で結ぶ友好都市協定」を令和6年7月1日に締結しました。締結式は奄美市で行われ、麻生町長、安田奄美市長をはじめ、芝山町議会からは伊橋議長、岩澤達弥副議長、坂井総務常任委員長が出席し、両自治体のさらなる交流の発展を誓いました。



定額減税 補足給付金 (調整交付)

定額減税しきれないと
見込まれる方への給付

5500万円

町民税務課 収税係
【総務管理費】



高齢者新型コロナ ワクチン予防 接種

65歳以上の高齢者並び
に60歳以上65歳未満で、
心臓肝臓呼吸器系に身体障
害者手帳1級相当の障害を
有する方が対象

824万円

福祉保健課 保健衛生係
【保健衛生費】



物価高騰対策給付金 低所得世帯の 負担軽減

(住民税非課税世帯分)

1000万円

(住民税均等割のみ課税世帯分)

2000万円

(子ども加算分)

350万円

福祉保健課 福祉係
【社会福祉費】

6月議会

注目の補正予算

笑顔のある暮らしを守る

全員協議会 Report

令和6年4月以降に開催された全
員協議会での主な質疑を紹介します。

議会の 視点

4月22日

地域公共交通計画の策定

【**實川議員**】 具体的な事業は
どのように行うか。

【**A**】 6月1日から横芝光号の乗降
が可能になり、今後は芝山ふ
れあいバスの



▲あいあいタクシーの拡充

れあいバスの
運行ルートの
見直し、芝山
あいあいタク
シーの町外へ
の拡充、多古
シャトルとの
連携を行いま
す。

学校給食センター整備基本計画(概要)

【**佐藤議員**】 生徒数の減少に
伴う新給食センターの余力
の活用は検討しているか。

【**A**】 災害時の活用を考えていま
す。

5月15日

空家等対策計画の改定

【**佐藤議員**】 空家の状態ごと
のランク分けが完了したが、
空家アンケートとの紐づけはして
いるか。

【**A**】 ランクごとの対策は必要と思
いますが、紐づけはおこなっ
ていません。

【**岩澤達弥議員**】 空家アン
ケートで「売りたい」「貸し
たい」という意向が32件あるが、
町が仲介できないか。

【**A**】 空家バンクを推奨しています。
民間活用も考えています。

暮らしの便利手帳

【**坂井議員**】 暮らしの便利手
帳3000部発行の根拠は。

【**A**】 地区回覧での配布部数22
0002300部を基に算出
しました。

防災計画

【**宮原議員**】 災害を想定した
訓練はしているか。

【**A**】 防災計画に役割を記載して
いますが訓練は出来ていま
せん。

奄美市との友好都市協定

【**吉川議員**】 子供の交流は芝
山町からの修学旅行だけか。
奄美市からは無いのか。

A 以前は芝山中学2年生の自然体験学習も行っていました。現行は3年生の修学旅行を行っています。奄美市からは現在ありません。



▲奄美のブーゲンビリア

組織再編

Q 【岩澤達弥議員】 十数年前に前町長が「課を減らせば意思決定が速くできる」という説明で5課とした。今回10課に増やせば遅くなるのか。

A 空港機能強化や事業増加、子育て分野の編成が課の増設理由です。

6月5日

こども教育

Q 【小嶋議員】 こども教育課はどういう役割を果たすのか。
A 子供のDV被害、虐待の相談窓口を設け、責任と権限を町長が持ちます。

Q 【八代議員】 臨時こども応援商品券事業850万円で、実際に各家庭に配られた金額は。業務委託費を除いた790万円が商品券の換金です。

上水道事業

Q 【宮原議員】 指名競争入札の参加数及び、落札価格と予定価格との差は。

A 8社が参加し、約90%で落札されています。

Q 【宮原議員】 上水道利用で個人負担が多くては利用が減ると思うが、幾らぐらいか。

A 場所によって金額が変わるが、1軒50万円未満と思われる。

6月18日

消防車購入

Q 【岩内議員】 買い替え後の旧消防車の処分方法は。

A オークションにかける準備を進めています。

中学校トイレ

Q 【坂井議員】 手洗い場の変更点はあるか。
A 自動式に変更します。

Q 【岩澤達弥議員】 トイレの水の流し方を知らない子供もいると聞くが、自動化とはいえ水を流すことも教えてはどうか。

A 感染症の観点から触らず済む方法になっています。

Q 【佐藤議員】 中学校は避難所にも指定されているが、停電でトイレが利用できなくなる恐れはないか。

A 自動化は停電に弱いですが、発電機があるので対応できます。

帯状疱疹ワクチン

Q 【大木議員】 生ワクチンと不活化ワクチン、町の推奨はどちらか。

A 生ワクチンは1回接種で60歳以上は5年間発症予防51・3%。不活化ワクチンは2回接種で50歳以上に10年間発症予防89%。任意の予防接種なので個人の判断に任せます。

子ども家庭総合支援拠点・子育て世代包括支援センター

Q 【佐藤議員】 大学生など18歳以上の相談は受けられないのか。

A 児童相談所が18歳未満までしか扱っていませんので、連携している町も18歳未満までとなっております。



▲相談から預かりまで総合的な子育て支援センター

中学校の飲用水

Q 【岩澤勝則議員】 中学校の水道から鉄分を含んだ水が出るが、対応は。

A 生活用水には問題がないですが、飲用にはあまり適さない。生徒には水筒持参や、町から水の提供で対応しています。またよく使う場所は浄水器を取り付けています。

四者協議会

Q 【小嶋議員】 四者協議会で町長から集落分断という発言があったという事だが、協議対象として今後も話し合っていくのか。
A 継続的に協議するかは回答をもらっていませんが、過去の積み残し問題があることを提議したことには意義があると思っています。

議員の賛否を公開

6月定例会で審議した議案とその結果

なお、表中の「○」は賛成、「×」は反対、「退」は退席、「欠」は欠席、「除」は除斥、「／」は議決を不要を示し、「－」は議事を進行するため採決に参加していません

議案 番号	上程された議案・概要・結果 賛成：○ 反対：× 欠席：欠 退席：退	議席 番号	議案 掲載 ページ	議案だより												⑪ 議長 伊橋 寿夫
		佐藤 良太		吉川 真悟	八代 正義	宮原 研吾	大木 浩司	岩澤 勝則	岩内 章	坂井 慶子	實川 嘉一	岩澤 達弥	小嶋 秀樹			
専決処分の承認																
第1号	町税条例の一部改正の専決処分の承認（個人住民税の定額減税、土地に係る固定資産税の負担調整措置等を改正内容とするもの）	可決 賛(11)・否(0)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
第2号	町国民健康保険税条例の一部改正の専決処分の承認（国民健康保険税の課税限度額等を改正内容とするもの）	可決 賛(11)・否(0)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
第3号	令和6年度芝山町公共下水道事業会計補正予算(第1号)の専決処分の承認(支出総額3億5706万6000円とする)	可決 賛(11)・否(0)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
条例の一部改正																
第4号	町課設置条例の一部改正（総務課を総務課と財政課の2課にし、福祉保健課を福祉課とこども保健課の2課にすることを改正内容とするもの）	可決 賛(11)・否(0)	P4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
第5号	町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正(放課後児童支援員の資格要件を改正内容とするもの)	可決 賛(11)・否(0)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
第6号	町ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部改正（根拠法令の引用を加えることを改正内容とするもの）	可決 賛(11)・否(0)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和6年度補正予算																
第7号	令和6年度芝山町一般会計補正予算(第1号)（総額66億7696万9000円とする）	可決 賛(11)・否(0)	P2,3,4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
第8号	令和6年度芝山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）（総額9億3130万3000円とする）	可決 賛(11)・否(0)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
報告																
第1号	令和5年度芝山町一般会計繰越明許費繰越計算書(令和5年度一般会計において繰越明許費とした事業(共同利用施設整備事業、物価高騰対給付金事業等)を越明許費繰越計算書にて報告)	報告のみ（採決なし）														
第2号	令和5年度芝山町一般会計事故繰越し繰越計算書(年度内に完了ができなく事故繰越しとした事業(福祉センター給湯設備等改修事業、共同浄化槽事業出資金)を事故繰越し繰越計算書にて報告)															
第3号	令和5年度芝山町公共下水道事業会計予算繰越計算書(年度内に完了ができなく建設改良費繰越とした事業(芝山町公共下水道施設実施設計業務委託)を繰越計算書にて報告)															
第4号	令和5年度芝山町公共下水道事業会計予算事故繰越し計算書(年度内に完了ができなく事故繰越しとした事業(芝山町公共下水道施設実施設計業務委託)を事故繰越し繰越計算書にて報告)															
第5号	令和5年度芝山町公共浄化槽事業会計予算事故繰越し計算書(年度内に完了ができなく事故繰越しとした事業(菱田地区代替地に係る水道工事業務委託等)を事故繰越し繰越計算書にて報告)															
第6号	令和5年度芝山町簡易水道事業会計予算事故繰越し計算書(年度内に完了ができなく事故繰越しとした事業(菱田1025-6地先水道管工事等)を事故繰越し繰越計算書にて報告)															
追加議案（契約の締結）																
第1号	物品売買契約の締結（小型動力ポンプ付積載車（水槽付）の購入に伴い、契約を締結するもの。契約額2623万8890円)	可決 賛(11)・否(0)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
第2号	物品売買契約の締結（芝山町消防団新基準活動服一式の購入に伴い、契約を締結するもの。契約額851万6640円)	可決 賛(11)・否(0)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
第3号	工事請負契約の締結(芝山町立芝山中学校校舎・屋内運動場トイレ改修工事に伴い、契約を締結するもの。契約額1億6829万5600円)	可決 賛(11)・否(0)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議員発議（請願の採択による発議）																
第1号	国における2025年度教育予算拡充に関する意見書	可決 賛(11)・否(0)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可決 賛(11)・否(0)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

政策提言を研究

「芝山町議会政務活動費の取扱いに関する基準」に基づき、令和5年度分の政務活動費支出状況をお知らせします。

会派名	人数 (人)	活動費 (円)	所属議員	主な使途	会派名	人数 (人)	活動費 (円)	所属議員	主な使途	会派名	人数 (人)	活動費 (円)	所属議員	主な使途
創芝会 (R5.4.1 ～ R6.2.29)	5	145,800	◎内田白民 (R5.12.16逝去) 平山 弘 (R5.10.16逝去) ◎坂井慶子 岩内 章 大木浩司	資料購入費（新聞購読料等） 事務費（議員手帳等）	地方自治研究会 (R5.4.1～ R6.2.29) ※ R6.2.29解散	1	0	◎伊橋寿夫		緑の会 (R6.3.1～ R6.3.31)	3	18,000	◎岩澤達弥 岩澤勝則 吉川真悟	資料購入費（新聞購読料等） 事務費（事務用品等）
					清祥会 (R5.4.1～ R6.2.29)	1	700	◎小嶋秀樹	事務費（議員手帳）	眞人 (R5.4.1～ R6.2.29)	1	66,000	◎實川嘉一	調査研究費（県外視察／愛知県飛島村） 資料購入費（新聞購読料）
創芝会 (R6.3.1 ～ R6.3.31)	5	10,118	◎坂井慶子 岩内 章 大木浩司 宮原研吾 八代正義	資料購入費（新聞購読料等） 事務費（会議ノート等）	緑の会 (R5.4.1～ R6.2.29)	3	198,000	◎戸井沢夫 岩澤達弥 岩澤勝則	調査研究費（県外視察／愛知県飛島村） 資料購入費（新聞購読料等） 事務費（事務用品等）	眞人 (R6.3.1～ R6.3.31)	3	4,100	◎實川嘉一 伊橋寿夫 佐藤良太	資料購入費（新聞購読料）
										合計（5会派）	－	442,718	◎は会派代表	



【政務活動とは】議員が町の課題や町民の意思を把握した上で、町政に反映させるために行う調査研究活動などです。主に、視察や現地調査の旅費、資料購入費などに使われております。芝山町議会では新聞購読料は2紙目を資料購入費として認めています。



【政務活動費とは】「芝山町議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき交付されるものです。芝山町議会では一人当たり年間72,000円（月額6,000円）を上限に年度末精算方式を採用しており、1年分まとめて会派に支出しています。

議員の総合的政策能力を磨くには



▲一般質問の極意を学ぶ

5月15日 芝山町議会議員研修会

一般質問の質を磨くため、自治体議会研究所代表である高沖秀宣氏を講師に招き、議員研修会を開催しました。研修では、一般質問の心構えや質問前の十分な調査、政策提案機能などを効率よく発揮するためにしておくポイントを押さえ、町執行部から誠実・明快な回答を得られる方法を学びました。

読まれる議会だよりを目指して

今年3月より新メンバーになり、再スタートを切った議会だより編集委員会。メンバー一人一人のスキルを磨くため、議会広報クリニックの研修に参加しました。研修では、講師である芳野政明氏から町民との対話が重要であり、議会からの一方的な情報だけでなく、町民の皆様の声も載せるべきとのアドバイスを頂きました。今回学んだことをしっかりと取り入れていき、今後の「読まれる紙面」づくりに邁進していきます。

7月5日 千葉県議会広報研究会 議会広報クリニック



▲各町村の議会だより編集委員と共に学ぶ

防災に対する議会対応を学ぶ



▲防災への意識づけを

7月10日 第58回山武郡市議会議員研修会

山武郡市議会議長会主催の山武郡市議会議員研修会が開催され、芝山町からは議員12名全員が参加しました。災害の発生時に議員がどのように関わるかについて学び、再認識しました。これからも町の防災計画のチェックなどを行い、安心安全な防災対策に努めてまいります。

山武郡市議会議長会に大きく貢献

7月10日 表彰式

山武郡市議会議長会より、小嶋秀樹議員が前山武郡市議会議長会長としての功績を称えられ、感謝状が贈られました。



▲表彰状を掲げる小嶋議員



町政の課題に 政策提言



一般質問

芝山町の様々な課題に対して、提出議案とは関係なく議員個人が自由に考えを聞くことのできる一般質問。

6月定例会では8名の議員が登壇し、直面している問題の解決や町の将来像について、それぞれの視点から質問を投げかけました。

この原稿は、質問者本人が作成しています。

①佐藤良太議員 P8(27分)

- ・保育所でのおむつ
- ・保育所での午睡

⑤坂井慶子議員 P12(59分)

- ・さらなる観光施策の充実を

②大木浩司議員 P9(44分)

- ・空き家対策
- ・道路問題
- ・ひこうきの丘
- ・小学校の建て替え

⑥宮原研吾議員 P13(50分)

- ・人口減少対策
- ・役場の建替え
- ・騒音地区住民の対策
- ・防災対策

③八代正義議員 P10(43分)

- ・道路問題
- ・町道の付け替え工事や廃道
- ・地域から寄せられた要望書や陳情書
- ・町職員の町内居住者手当支給

⑦岩内 章議員 P14(57分)

- ・町民の健康維持
- ・子育て
- ・高谷川治水対策
- ・町の情報発信

④岩澤勝則議員 P11(32分)

- ・ワンストップサービスの進捗は
- ・〈仮称〉ヒストリーパーク構想は

⑧岩澤達弥議員 P15(60分)

- ・財源確保
- ・成田空港の更なる機能強化
- ・議会改革の推進

※6月定例会の傍聴者は28人でした。



【一般質問】芝山町議会の場合、質問時間は答弁を含めて60分以内とされており、一つの項目に関して再質問は2回までとされています。

子育て負担の軽減

保育所のオムツ

問 保育所では保護者が一枚一枚オムツに名前を書いて預けている。保育所によってはしっかりとした歩道やガードレールのない道路を子供1人、2人連れてシートや毛布などの荷物とともにオムツを抱えて通園している。また、保育所ではオムツを児童別に管理している。こうした保護者と保育所の負担を軽減する考えはあるか。

答 【町長】 昨年から使用済みオムツの持ち帰りをなくし、保護者の負担を軽減しました。その際、保護者にオムツの使用枚数を連絡するため、氏名記入が必要となっています。記入をやめては逆に保育所の負担となるので、今後も保護者には氏名の記入にご協力をお願いします。



問 保育所にて使用する全児童のオムツ代は年額約50万円となる。氏名記入をやめ、サイズ分けしたオムツを保育所で常備するようになれば、金銭的に上に大きな負担軽減となるがその考えはないか。



佐藤 良太 議員
(真人)

(所要時間27分)

答 【町長】 物価上昇もあり金銭的負担は理解しています。保育所以外の施設へ通う児童もいることを考慮して平等に負担軽減を図る必要があります。保護者への経済的負担軽減については、手法を含め調査し進めていきたいと考えています。

午睡は望む児童に

問 保育所では昼食後を午睡の時間に当てている。一方、こども家庭審議会「幼児期までのこどもの育ち部会」の資料に「3歳半になると大部分の子供が昼寝をしなくなって、5歳になるとほとんど昼寝をしない」というのが実情である」という記載がある。午睡は望む児童だけにすることを考えるか。

保育所では保護者が一枚一枚オムツに名前を書いて預けている。保育所によってはしっかりとした歩道やガードレールのない道路を子供1人、2人連れてシートや毛布などの荷物とともにオムツを抱えて通園している。また、保育所ではオムツを児童別に管理している。こうした保護者と保育所の負担を軽減する考えはあるか。



▲こどもたちが通う保育所

答 【町長】 保育所の保育計画の項目で「午睡は生活リズムを構成する重要な要素であり、安心して眠ることのできる環境を確保するとともに、在園時間が異なることや、睡眠時間は子供の発達の状況や個人によって差があることから、一律とならないよう配慮すること」とありますので、保育所での実態を確認したところ、午睡を必要としない児童はいませんでした。また、午睡の時間は保育士の先生の事務仕事に当てていますので、今後も午睡時間は確保したいと考えています。

空き家問題に 斬りこむ

空き家の課題は

問 現時点で、今後10年間の空き家数増減見通しをどのように捉えているか。

答 【町長】 令和4年度の実態調査で184件確認しておりますが、現状のままでは、今後10年間は、増え続けていくと見通しています。令和14年度の空き家数については、令和4年度から2割程度削減した140件を目標としています。

問 町として個人の財産利活用することは難しいと思うが、民間と連携しての活用方法などの具体的な考えはあるのか。

答 【町長】 空き家等対策計画においても、民間事業者との連携による取組み、費用対効果も考えながら他市町村の事例

調査を行うなど、民間との連携について検討します。

問 特定空き家として指定され、所有者等が取り壊し等に同意しない場合、町としての対応は。

答 【町長】 放置された空き家が周辺環境に危険を及ぼすと判断した場合には、行政代執行法による戒告などの手続きを進め、建物除却等の措置を行います。

道路改良は

問 国道296号線の4車線化など町として千葉県への働きかけは行っているのか。

答 【町長】 国道296号線の4車線化については、早期供用開始ができるよう、千葉県町村会や県知事との意見交換会等を通じて、要望活動を行っています。

ひこうきの丘改修を

問 ひこうきの丘、のり面に階段を取り付けてみては。

答 【町長】 のり面の件については、私も担当者も承知しております。それで何らかの対策を考えなければならぬと思っています。

小学校の建て替え時期は

問 小学校の建て替え目標年次は決まっているのか。

答 【教育長】 現時点での計画目標年次ですが、令和11年に建物の耐久性を詳細に調査し、令和12年に基本設計、令和13年に実施設計、令和14年に建設工事に着手し、築後60年を過ぎる令和15年の完成を目指した事業計画を考えております。

問 今後の児童数増減を踏まえながら、教室数等の規模はどのように決定していくのか。

答 【教育長】 人口の将来展望は、令和22年時点で人口7500人を確保し、令和42年時点で5700人と予想され、この数字から児童数を算出しますと300人弱となりますので、現行の小学校と同規模程度の教室数を想定しております。



▲ひこうきの丘の景観改善を



大木 浩司 議員
(創芝会)

(所要時間44分)

道路は町民の財産

道路問題は

問 町道021006号線川津場地先（スーパ―セイミヤから金森興業区間）一部幅員減少区間解消の目処は。

答 【町長】 当該道路ですが、令和5年度に警察協議が終了し、今年度修正設計を行いながら地権者の方のご理解とご協力を頂き、早期の幅員減少区間解消に努めて参ります。

問 町道021005号線谷平野地先（やすらぎの里からサテライト成田区間）一部幅員減少区間解消及び道路直線化が出来ないものか。

答 【町長】 該当道路は大変重要な基幹道路と認識してお

ります。優先順位を精査して参ります。

また、一番大事なのは地権者の方のご理解を頂くことです。そうした問題をクリアした上で次のステップに進んで行きたいと思っております。



▲拡幅が求められる町道

問 機能強化補償道路021029号線高谷川沿線道路の完成後、軟弱地盤等で維持費拡大が見込まれる道路をどこが維持管理者となるか。



八代 正義 議員
(創芝会)

(所要時間43分)

答 【担当課長】 該当道路の維持管理者は町になります。

地盤沈下等が起こらない様にきちんとした設計、施工をして参ります。また、広域的役割の道路であれば千葉県とも協議をしていかなければならないと思っております。

町道の付け替え工事や廃道は

問 圏央道や成田空港第三滑走路などの建設に伴う町道の付け替え工事や廃道について、関係機関と協議は適正になされているのか。また、その場合の地域住民への周知はどの様にしているか。

答 【担当課長】 関係機関と協議は適正になされていると認識しておりますが、実際に道

路が出来上がっていると想定していたものより危険な道路となってしまう事例があります。その様な場合は関係機関と再度協議をさせて頂いております。また、地域の皆様方には事業主体者が説明会を開きその場に町も同席し丁寧に説明をしてご理解頂けるよう努めて参ります。

地域から寄せられた要望書や陳情書の扱いは

問 要望書や陳状書が町に提出された場合の対応は適正になされているか。

答 【町長】 すぐ出来る案件は実行し、調査研究などすぐには出来ない案件にはお時間を頂く場合も有ります。どの案件でも1ヶ月程度で代表者に回答するように心掛けております。町職員に町内居住者手当支給を新設してみても。

問 【町長】 町職員には幾つかの手当が有り、人事院からも勧告を受けております。そうした観点から早速導入とはいきませんが、危機管理上からも検討する余地は有ると思います。

施政方針を問う

ワンストップサービスの進捗は

問 今回の組織再編では、総合的な窓口の設置はされないが、いつのタイミングで設置を考えているのか。

答 【町長】総合的な窓口の設置につきましては、現在ワンストップサービスの実施に向け、本年10月より実施する子育て教育部門の一体化により、子ども子育てに関する相談窓口として教育委員会、こども教育課に相談支援係を新設するとともに、保健センター内にこども保健課を新設する予定であります。

問 今後の議会力アップには議会事務局員増を考えてもらいたいと思う。将来的には、Open AI総合窓口を考え、是非、議会事務局の3人体制を築いてもらいたいと思うが、AIに

よる総合窓口の設置について、どのようなお考えか。

答 【町長】AIは今後主流になってくると思います。DXに関して、役場内で様々な角度から検討しています。それから、議会事務局の職員定数については、議会としてこういった業務増があり、その辺のビジョンをしっかりと示されれば、そのときに必要であれば考えていきます。

ヒストリーパーク構想は

問 (仮称)ヒストリーパーク構想に芝山公園の再整備を

含めて考えてはどうか。

答 【町長】芝山公園周辺には芝山仁王尊、芝山古墳・はにわ博物館や旧藪家住宅など歴史文化遺産や自然が豊富に所在しています。このたび、殿塚・姫塚古墳出土埴輪が国の重要文化財に指定されるのを契機に、これらを一体的に保存活用してまちづくりや観光交流の拠点としていきたいと考えております。そこでこのエリアをヒストリーパークしばやまと称して、本年4月から関係者が集まり、情報共有や意見交換を始めたところ です。

なお、芝山公園の再整備は町の魅力向上に資する事業であり、ヒストリーパークしばやまへの位置づけ等も含めて、将来的には考えていくべきものと認識しております。



岩澤 勝則 議員
(緑の会)

(所要時間32分)



▲旧藪家住宅



▲芝山古墳・はにわ博物館

観光施策のさらなる充実と強化

町が「推す」観光とは

問 観光施策全般において町の特徴を活かした「メインテーマ」を打ち出すべきでは。

答 【町長】町の観光施策のメインテーマは、第5次総合計画にも掲げる通り、「芝山町の魅力を発見・発信する観光の振興」です。町には大迫力の航空機を全身で体感できるロケーションと古代からの歴史に触れられる環境、豊かな自然、新鮮な地元産品など、観光に活かせる素材が数多くあります。

スカイパークをさらに楽しい場所に

問 昨年立ち上がったスカイパーク連絡協議会の活動と今後の取り組みは。

答 【町長】観光協会と協同の夏祭りやマラソンの開催など様々な取り組みが行われました。今後さらに会員同士の情報共有や※1相互PRの活動を活性化する計画がされています。

問 町の町政要覧にも「町の主な施設」として紹介されている、「芝山水辺の里」、※2「グリーンポート エコ・アグリパーク」、「朝倉やすらぎの杜」は10年間HPが更新されておらず、紹介されている内容と現実の状況がかけ離れている。町内外の人にとってもっと行きたくなるような場所に整備するよう、町からNAAに強く働きかけるべきでは。



坂井 慶子 議員
(創芝会)

(所要時間59分)

答 【町長】確かに、観光客だけでなく地元の方がウォーキングを楽しめるような健康増進の場としても活用できるので申し入れをしたいと思います。

しばっこくんグッズもっと増やして

問 航空科学博物館の物販売り場では地元のしばっこくんグッズが少なく、チーバ君やうなりくんと比べると目立たない。お土産品を選ぶ楽しみも観光の要素として重要だと思う。

答 【町長】しばっこくんグッズは現在観光協会に開発・製作を依頼しており、間もなくぬいぐるみとネックストラップが販売される予定です。

埴輪の重要文化財 町の誇りに

問 殿塚・姫塚古墳から出土した48点の埴輪が国の重要文化財となる予定だが、今後どのように観光に活かすのか。

答 【町長】はにわ博物館では、埴輪の重要文化財指定を周知する横断幕、のぼり、ポスターなど作成するとともに、埴輪を含めた芝山公園周辺の文化財を周遊するガイドツアーなど「(仮称) ヒストリーパークしばやま」をPRするイベントを展開します。また今年のはにわ祭でも記念のPR活動を実行委員会で検討していただきます。



▲知るほどに奥深さを感じられる芝山の埴輪。観光や教育振興にしっかり繋がっていきたい

👉【※1相互PR活動】R6年度は「芝山夏祭り2024」の運営協働、JR東日本主催の「駅からハイキング」をスカイパークエリアで開催し、連絡協議会による「おもてなし事業」を実施する予定

👉【※2グリーンポート エコ・アグリパーク】NAAのHPでは「かつての里山を復活させることを目的」とし、「子どもたちや一般の人々が自然環境や農業・林業等の体験を通し、学べるプログラムを用意し、楽しむことの出来るパークを目指す」と記載されている

魅力あるまちづくりと 騒音対策

人口減少の解消に向けた対策を

問 芝山町の強みを生かした魅力ある街づくりをどのように推進していくのか。

答 【町長】 芝山町は歴史文化遺産が豊富な自然環境に加え成田空港に隣接し高いポテンシャルを有した町で、今後空港機能強化と新しい成田空港構想などにより、空港と一体的なまちづくりを進めることにより持続可能なまちづくりにつながるものと考えています。

また、町おこし政策として上下水道、道路等の生活インフラ整備に加え、三つの住宅拠点整備と言った大規模事業を推進しています。

問 町おこし協力隊の活用方法は。

答 【町長】 役場職員で構成されたプロジェクトの中に所属し、まずは町の魅力のPRの発信と将来につながる情報の収集など行ってもらうことにしています。

役場の建て替え

問 役場は老朽化が進んでいるが今後どのように整備していくのか。

答 【町長】 役場本庁舎の建て替えの時期を迎えていることは認識しています。一方では、

今後10年程度は拠点整備事業や教育・子育て事業など大規模な事業を優先するため、財源確保の点から一定の期間を要します。その間、新庁舎建設に向けての課題の整理や機能、規模等の検討を進めていくこととしています。

騒音区域住民対策

問 騒音区域住民に対しての対策の充実や新たな対策は考えているのか。

答 【町長】 騒音区域内住民に対し防音工事、空調機維持費、固定資産税補助に加え、寝室の内窓設置や壁天井への補完工事などの充実を図ってきています。本年4月には物価上昇に對しての防音工事限度額の引上げを行いました。これらの改善

充実された対策をしっかりと実施してもらうことに注力していきたいと考えています。

問 騒音移転など過疎化する地区に對しての行政の対応は。

答 【町長】 地域と行政の対話の活性化により、地域の孤立を防いでいけるよう課題と向き合い、今後も住み慣れた地域で安心して生活できる環境を維持していきたいと考えています。

問 騒音移転対象者の中には、移転補償費だけでは移転できないという声を聞くが、行政の対応は。

答 【町長】 移転補償費だけでは移転できないというご意見は町として真摯に受け止め、空港会社にはしっかり伝えていきたいと思っています。



宮原 研吾 議員
(創芝会)

(所要時間50分)



▲頭上を飛び航空機

一歩ずつ、 利便性の向上へ

町民の健康維持は

問

生活習慣病などの予防の観点から町では、健康づくり教室などを実施している。そこで、さらなる健康増進や現代の多様な働き方への対応、住民の利便性を図るため、スポーツジムを活用する考えはあるか。

答

【町長】町の健康増進事業として、民間スポーツジムを活用することは現時点では考えていませんが、活用ができれば

ば仕事の合間での利用や夜間の利用は可能となり、多様化しているニーズが解消できる可能性があるので、今後の事業の参考にしたいと思います。

乳幼児にもおむつ券を

問

現在、おむつを必要としている方で、高齢者などには紙おむつ券の支援はあるが、おむつの必要な乳幼児には支援が無い。おむつ券を乳幼児にも平等に支援すべきではないか。

答

【町長】町としては、子育てしやすい環境としてまちづくりを進めていきますので、おむつ券の手法を含めて調査、研究し、保護者の方への経済的負担の軽減を進めていきます。



岩内 章 議員
(創芝会)

(所要時間57分)

情報発信の更なる強化を

問

以前一般質問の中で情報発信の多様化について取り上げた際に、当時ツイッターは非常に有効な情報発信方法の一つと町長から答弁があったが、現在のX(旧ツイッター)の情報発信力が少し弱いように感じる。情報発信の多様化の面で新たな方法を取り入れる考えはあるか。

答

【町長】現在町では、比較的对象年齢層が広くて文字数制限もなく、情報が伝えられ、写真や動画で直感的に町の魅力を伝えられるインスタグラムに注力しており、X(旧ツイッター)についても、有効な情報発信手法ですので、新たな情報発信方法とともに、効果的な活用について引き続き検討していきます。

早急な治水対策を

問

高谷川の改修を県に要望をしている中で、以前の質問の際、町長から早急な治水対策を要望すると答弁があったが、その後、千葉県からどのような回答を得ているか。

答

【町長】千葉県の事業として、高谷川の樹木の伐採や堆積土の撤去が今年度計画されているとの回答を頂いています。その他に、空港会社では、空港区域拡張エリアの沈砂池4か所の整備を現在進めています。



▲豪雨により冠水する高谷川付近の田んぼ

財源はあるはず

財源確保は

問 主要町税（町民税、固定資産税、軽自動車税）の当初予算額に見積もった調定額と実際に課税した調定額には相当な乖離があると予想するが、増額補正できる予算はいくらか。

答 【町長】合計で7790万円です。

問 空港からの周辺対策交付金は50万回化を想定した先払い方式だが、固定資産税についても供用開始を前提とした評価に基づき課税できないか。また、1反歩当たり1000円の農地が30万円の雑種地になるはず。課税権者の権限で課税すべきと思うが。

答 【町長】担当者と相談し判断します。

問 昨年度3月補正で固定資産税の収納額が伸び、約2000万円の増額補正があった

が、今年度は2500万円程度伸びるのではないかと見えています。

答 【町民税務課長】今年度も3月に補正できると見えています。



▲建設中の倉庫

問 合計1億円を超える額が増額補正される。基金に積み

立てるのではなく町長の選挙公約にあるように、空調機補助、固定資産税補助の増額に充てるべきと思うが。

答 【町長】町民の方への還元は考えています。タイミングと判断、少し時間を下さい。

空港機能強化は

問 C滑走路は呼びづらいため今後私は「芝山滑走路」と通称呼びます。空港敷地内は、新しい成田空港構想など議論され進んでいるが、敷地外の社有地も所有者責任で利用する方策を出すよう強く要望してもらいたい。

答 【町長】地域振興に資する事業への積極的な活用等も図るべきと次の四者協議会で発言します。しっかり対応します。

議会改革推進

問 議会もタブレット、パソコンが必要な時期にきている。情報管理等プロの職員の指導を仰ぎたいが。

答 【町長】デジタル化は進めるべきだと思います。積極的に協力いたします。

問 今期、芝山町議会は変わらなければならぬと思っている。そのためには人が必要。知識と経験、更には権限も持っている副町長に、議会改革のアドバイザーを依頼できないか。

答 【副町長】議会改革の中でアドバイザーとして協力させていただきます。



▲求められるデジタル化



岩澤 達弥 議員
(緑の会)

(所要時間60分)

「一日女性議員」になってみませんか？



令和7年1月21日(火)、芝山町では初となる「女性模擬議会」を開催します。この模擬議会とは、女性の皆様が日ごろから町に對して感じている事や要望など、率直なご意見を実際の議場で質問を投げかけ、町の執行部より答弁をもらうものです。

「一日女性議員」として芝山町議会のお仕事の一部を体験できます。詳細については次号で改めてお知らせ致します。

Information

令和6年第3回芝山町議会議定例会のお知らせ

9月12日(木)から
27日(金)

開催予定。

議会は、どなたでも傍聴できます。
私たちに一番身近な政治を感じて
みませんか。

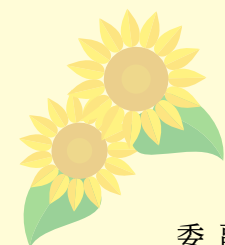
編集後記

梅雨が短く、以前の梅雨とは違い、亜熱帯気候のようなスコール。そして線状降水帯、また温暖化の影響で40℃を超える日が出てきております。世界各地で起きている豪雨や干ばつ、熱波など、まるで地球に叱られているようです。これまでにない気候の激しさを思い知らされる夏のスタートとなりました。

そんな中、議会だより編集委員会では皆さんに見ていただける、より良い「議会だより」を目指して見直しを進めております。見やすい、読みやすい、そして分かりやすいをモットーに編集委員は、日々努力をしております。7月には市町村広報研究会に参加し、学びました。

議会の傍聴者はまだ少ないですが、議会だよりを通して皆様に議会活動を知っていただき、関心を持っていただければ幸いです。

【議会だより編集委員会】



委員長 大木 浩司
副委員長 佐藤 良太
委員 岩内 章
岩澤 勝則
宮原 研吾
八代 正義
吉川 真悟